

会議の概要

令和元年度 第3回

おおたま学園コミュニティ・スクール委員会

- 大山幼稚園学校運営協議会 ○ 玉井幼稚園学校運営協議会
- 大山小学校学校運営協議会 ○ 玉井小学校学校運営協議会
- 大玉中学校学校運営協議会

日 時：令和元年7月9日（火）18:30～20:30

場 所：改善センター 多目的ホール

（進行 指導主事 斎藤一範）

1 開会のことば （おおたま学園コミュニティ・スクール委員会副会長 吉田 都）

これから第3回コミュニティ・スクール委員会（以下CS委員会と略記）を始めます。よろしくお願いします。

2 おおたま学園コミュニティ・スクール委員会会長あいさつ

（おおたま学園CS委員会会長 伊藤和弥）

- 本日はお忙しい中ご参加いただきありがとうございます。
- 地域学校協働活動については、それぞれの立場で様々なことが進行中かと思う。フェスタ等もあり忙しくなるが、委員会で協力し合い、成功させていきたいと思う。

3 教育長あいさつ

（大玉村教育委員会教育長 佐藤 吉郎）

- 今年度のCS委員会は、1回目、2回目と大変充実した内容で、特に前回のオープンスクール後のCS委員会においても、幼稚園・小学校に特化した話し合いが行われた。そこで4つの学校課題についてたくさんの意見をいただき、その内容を幼稚園・学校に持ち帰り教職員で話し合い、これから幼・小でしてみたいことを資料（下記）にまとめてもらったのでご覧いただきたい。

玉井幼稚園、玉井小学校の教職員に聞きました！

別紙資料

玉っ子をもっとピカピカに！

家庭や地域と協力して取り組みたいこと

玉井幼稚園

玉井小学校

第1位「早寝早起き朝ご飯」

第1位「あいさつ」

第2位「あいさつ」

第2位「情報モラル」

第3位「排泄の自立」

第3位「家庭学習」「朝食」

第4位「心の安定」

「体力向上・あそび」

- 中学生が、今朝意気揚々と自転車に乗って職場体験学習に向かっていた。実は、これが始まったきっかけは、平成10年度、兵庫県で中学2年生を対象に県が主体となって始めた事業である。名前は「地域を学ぶ中学生体験活動週間『トライアル・ウィーク』」で、生徒は連続した5日間学校を出て活動する。兵庫県の中学2年生5万人による活動が、実に20年間も続いていて、様々な成果が上がっている。最初は、「5日間もできるのか」と疑問も多く出たが、働くことの意義、楽しさ、つらさを感じ取り、社会人としての自覚が芽生え、一人一人の生き方を教える機会にもなって

いる。

平成7年に阪神淡路大震災が、平成9年に神戸連続児童殺傷事件が発生し、これらがきっかけとなって、この事業を立ち上げたということだ。平成23年の東日本大震災の折には、神戸の方から若者がたくさん来てくれた。体験活動はそういう意味でも意義が大きい。

- 本日は、3回目を迎えたおおたま・オータム・フェスタについての協議をお願いしたい。幼・小・中一体となった学校行事は、実施の上での課題もたくさんあるが、それをクリアしていただき、実施していきたい。

平成29年度のアンケートを見ると、児童生徒、保護者、教職員、保護者、ボランティア、各種団体、CS委員等参加してくださった皆さんにはとてもよい評価をいただいている（平成28年度も同様の評価）。ただ、実施にあたって課題もある。各部長（6つの活動＜スポーツ交流イベント、昔遊び・グラウンドゴルフ、大名倉山登山、安達太良ふれあい登山、県民の森オリエンテーリング、ミニ運動会）からそれらをあげてもらっているの、それをもとに話し合いを進め、本年度のフェスタがより充実したものになるようお願いしたい。

教育長退室

4 諸連絡 本日の日程・内容について

（指導主事 斎藤 一範）

＊ 資料の説明

（1）おおたま・オータム・フェスタの協議を行うに当たって

- バス運行表について・・・各行事（活動）の連携の確認
- 実施案の検討について
- 村内関係団体への依頼事項・・・協力内容の協議
- 雨天時の対応

実施可否の決定は前日27日（金）正午。28日（土）が雨天の場合は29日（日）に延期し、29日（日）も実施が不可能な場合は中止とする。

- 今後の日程について

- ・ 7月23日（火）修正した実施案及び予算案の送付
- ・ 7月26日（金）実施案及び予算案に変更がある場合は再送付
- ・ 7月31日（水）おおたま学園全体会（午前）、最終打合せ会（午後）

（2）教育フォーラムについて

5 協議

（進行 おおたま学園CS委員会副会長 矢吹吉信）

（1）おおたま・オータム・フェスタについて

- ① 各部長より実施計画の説明
- ② 確認が必要な部分の洗い出し（各部ごとの視点から、全体の視点から）

グループ討議
（各部ごと）
（30分）

- ③ 全体での共有（全体会：各部2分程度の発表を行う…全体に関わること）

＜スポーツ交流イベント部（幼稚園）＞

- ・ 小中学校とは別日で10月11日（金）に実施する。（午前半日）
- ・ 年中児（4歳）、年長児（5歳）による活動とする。
- ・ 年少児（3歳）は村の規定でスクールバスに乗れないので、各幼稚園毎の実施とする。
- ・ 課題として、4、5歳児の活動にほとんどの教職員が出てしまい、幼稚園に残るのが3歳児の担任と補助職員のみになってしまうので、その中でどのような交流を設けたらいいのだろうか。別の週に、4、5歳児が3歳児に対して、経験したことを教えながら交流する機会をもってもいいのではないかという意見も出ている。検討が必要である。

＜昔遊び・グラウンドゴルフ部（小１，２年、中３年）＞

- ・ 中学３年はグラウンドゴルフの体験とともに、昔遊びの補助も兼ねている。
- ・ 昼食の時間に、婦人会の方々に作っていただいた芋煮汁を食べる活動も入っている。配膳等が大変なので、ここで保護者ボランティアをお願いするようにしたい。（３００人～４００人が食す）
- ・ 芋煮汁の輸送方法、会場での配付方法等検討が必要である。

＜大名倉山登山部（小３年）＞

- ・ 長袖、長ズボンで登山させる。
- ・ 各種団体、ボランティアの駐車場を確保する。

＜安達太良ふれあい登山部（小４年）＞

- ・ ゴンドラが動いていなかった時の対応 … 遊歩道に行くわけだが、右回りで行く方がいいと思われる。下見の際によく確認をする。

＜オリエンテーリング部（小５年、中１年）＞

- ・ 養護教諭がいないので、本部に看護師か保健師を配置してほしい。

＜ミニ運動会部（小６年、中２年）＞

- ・ 大玉中学校校庭及び体育館で開催
- ・ 種目は、小中交流ができるもの、フェスタの目玉になるものになるようもう少し検討したい。
- ・ 安全面についてさらに検討をする。

（２）教育フォーラムについて

① 教育フォーラムの持ち方について問題提起

（おおたま学園ＣＳ委員会会長）

ア 昨年度までの反省点について

- 一番参加して欲しい保護者の参加が少ない。
- 学校の先生方の参加が多い（忙しくとも、難しくとも無理でも）、参加してくれている
- 教育フォーラムの名称が難しそうなイメージ
- 話し合う内容が難しいものがあつた。
- 時間がいつも足りなくなり、不完全燃焼に終わってしまいがち

イ なぜ教育フォーラムに参加しないと思うか

- 難しそうな集まりだから
- 開催されているのが分からなかった
- 時間がちょうどしなかった
- 興味がなかった



「どうしたら集まってもらえるような教育フォーラムにできるか」

- 昨年度で１０回が終了した。根本から見つめ直して裾野を広げる方法を考えたい。
- 名称を変更して広場的なやさしいイメージにしては？ 例えば“コミスク広場”とか…。
- 対象者を限定し、出張フォーラムを開催する。（幼稚園が面白い）
 - ・ 初めての子どもという場合が多いが、保護者同士で話し合う場が少ないという現状があるのでより有効と考える。保護者の一体感が生まれる。
 - ・ 大玉に移住してきた家庭が多くて地域の中で孤立しやすい。その防止にもなるのではないか。
 - ・ 幼稚園の行事にぶつけて全員参加の形をとる。３つの学年だと多人数になってしまうの

で、学年を限定して行うのもよい。もう7月であるので時期的に難しいとは思いますが、どうやったら可能か考えてもらえたらありがたい。

- フォーラムがさらに盛り上がるような進め方を学べたらよい。(易しい話の進め方)

(齋藤指導主事) 1月の教育フォーラムについては年間計画ですでに決まっているので、行うことは大前提である。課題を解決するために幼稚園で何とかできないかという提案であるが、実施するためにどんなことができるか、どんな問題点があるかについても話し合ってほしい。

② 小グループによる熟議 (各幼・小・中に分かれて) … 25分間

③ 全体で共有 (全体会 : 各グループ3分程度)

<玉井幼・小>

- 教育フォーラムは幼・小・中全て入るので、「幼だけ」というのは趣旨が違う。
- テーマを決めると構えてしまうので、フリーに話すのもよい。
- PTA行事、学校行事と兼ねて取り組んでいくということだが、年間の計画が決まっているので実施は難しい。

<大山幼・小>

- テーマを設けずに悩みを話し合えるとよい。
- 現実的に今年の実施は難しい。
 - ・ 幼…ふれ合い参観日は終わってしまった。カリキュラムが決まっているので、それを犠牲にしたいくない。
 - ・ 参観日の後も考えられる。教員の負担が重くなるのではないかな。
- PTAの参加は得られるが、地域の人の話が聞けなくなるのが残念。



<大玉中>

- 参観日の後もいろいろ入っている(懇談会、運営委員会など)。違う目的のものを2つ入れてしまうのは難しい。
- 教育フォーラムの中身について
 - ・ 保護者の興味は何なのか聞いてみたり、アンケートをとってみたりする。知りたい、聴きたいという希望を生かすようにする。
 - ・ 子どもたちを巻き込む内容はどうか。(「生の声」を生かす)
- 懇親会を開くのもよい。

<CS委員会会長から>

難しいと感じるが、「出してもらえない」という状況を何とかしていきたい。PTAとの連携も考慮するとともに、早めに考えを練っていきたい。やり方を工夫すれば改善も可能であると思う。

6 その他

特になし

7 閉会のことば

(おおたま学園CS委員会副会長 吉田 都)

本日はお忙しい中ご出席いただきありがとうございました。以上で第4回CS委員会を終わります。お疲れ様でした。